増田俊男の『愉快な暴言』2026 年 11 月 4 日国会議員号

[HP] http://chokugen.com/
[FAX] 03-3956-1313　　[mail] info@chokugen.com
[X(旧 twitter)] t_masuda2019/　[Youtube] 増田俊男チャンネル/
[instagram] t.masuda2026/



時事評論家 増田俊男

植田日銀総裁は
高市総理のケアテイカー（お手伝いさん）

日本の日銀には本来経済主権はない！
安倍晋三は 2022 年 5 月 22 日に「日銀は政府の子会社である」と述べたが、如実に政府と日銀との関係を表現している。
日銀には本来経済主権はなく、主権は財務省（前大蔵省）にある。
日本銀行法第 3 条で日銀の金融政策における自主性を定めているが、一方第 4 条では政府との連携を求めている。また第 2 条で国民経済の健全な発展の為物価の安定を図ることが定められているが、本来物価はモノとサービスの需給で決まるのであって、日銀の金融政策は需給で決まった物価を促進させるか、減速させるかの調整の為である。
モノとサービスの需給は財務省の財政政策によって決まる。
積極財政、内需拡大政策なら物価は上昇し、消極財政、外需拡大政策なら物価は下がる。
先ずは財務省の財政政策があり、日銀の金融政策が追従するのが本来である。
日銀法第 53 条 5 項で日銀が保有国債の利払いで得られる利子は国庫へ納入することが決められている。
日銀の 2025 年の国庫納付額は 1 兆 8,300 億円であった。
日銀は政府機関ではなく、東京市場に上場されている株式会社であるから政府から分離独立しているが、資本金 1 億円の 55%（5,500 億円）は政府が保有している。
先進国中で政府が自国通貨発行元の中央銀行の株式を保有している例はない。
債権者である日銀の株式を債務者の政府が保有することは Conflict of interests の原則（利害相反する関係にある者同士の利害共有禁止）に反する。
政府が日銀の発行株式の 55%を保有していること、金融政策は政府（財務省）と連携すること、保有する国債の受け取り利息は国庫へ納付することから事実上「日銀は政府の子会社である」ことがわかる。
現在の日銀の国債保有残は 504 兆円であり、総国債発行高 1,346.7 兆円に対して約 37%である。
FRB（米国）や BOE（英国）の 15%前後に比べると異常に高い。
財政ファイナンス（日銀が直接政府から国債を購入する）は財政法第 5 条で禁止されているが、日銀は、日銀が市中銀行口座に入れる新規発行国債購入必要資金で銀行が購入した国債を入札（市場）で買っている。

財政ファイナンス、金融政策財務省と連携、政府が日銀株式 55%保有、さらに政府利払いの国庫納付を見れば、日銀は政府の子会社であることは明白である。

日銀の国債買い入れ計画は下記の通り：
2026 年 10 - 12 月 2.3 兆円、 2027 年 1 - 3 月 2.1 兆円、2027 年 4 月以降 2 兆円である。
日銀は保有国債額 504 兆円を減らそうとしている：
2027 年 3 月末までに 480 兆円、2028 年 3 月末までに 430 兆円、2030 年末までに 350 兆円である。
日銀は本来異常なのだから、正常化を理由に国債保有額を減らす必要はない。
減額ではなく増額計画を立てて実行すれば、政府が払う利払いが国庫に納入され、利払いで苦しむ高市政権の積極財政に資することになる。
日銀は政府に従属することを忘れてはならない。

アメリカで AI インフラ投資資金争奪戦炎上、炎が日本へ向かって来た！
AI バブル崩壊は「子供の麻疹（はしか）」のようなもの一大人になる為の苦しみ。
孫さん（ソフトバンク）大丈夫ですか？
100 年に一度の金儲けのチャンスがやって来た！
小冊子 Vol.162 を熟読知れば勝ち道が見えて来る。

※増田俊男の小冊子 Vol.162 先行受付中！お申込みは、https://www.musrjec.com/

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」
いつでも繰り返し何度でも視聴可能！
皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。
【配信予定内容】〇損をさせない「早朝株式指南」〇本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：http://chokugen.com/ ）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。



好評先行受付中！

増田俊男の小冊子 Vol.162

AIを総括する

＊AIは救世主か疫病神か
＊AI投資資金奪戦に巻き込まれる日本
＊AI過剰投資修正とAIバブル崩壊
＊孫正義乗るか反るかのAI一本勝負
＊米中AI戦争の虚像
＊正しいAI投資法はこれだ！

【発送開始は11月前半予定】
但し、印刷・配送の都合により前後することがございますので予めご了承下さい。

★ネットのみクレジット決済対応。HPからお申込み下さい。http://chokugen.com/

フリガナ ..... お申込み冊数 ..... 冊

お名前 ..... 振込名義 .....
※銀行振り込みの場合のみ。カタカナでご記入下さい。

〒□□□-□□□□

住所（会社・自宅） .....

会社名 .....

TEL ..... FAX .....

商品価格 ¥5,800（税込み）⇒ **銀行振込み ¥5,980**（送料・税込）
郵便代引き ¥6,580（代引き手数料・送料・税込）

＊A5サイズ
＊30～50ページ
＊専用質問フォーム付き

ご希望のプランへ ☞ をお願いします。
（※プランの選択がない場合は発送できませんので必ずチェックをお願いします。）

★海外発送承ります。（送料別途）

定期購読の場合はお得な特別料金となります。

□ **12冊定期購読：銀行振込**（総額¥69,696 ⇒ **¥58,300**）
□ **6冊定期購読：銀行振込**（総額¥34,848⇒ **¥30,500**）
} **手間なし！優先発送！さらに送料無料！**

□ **単品：銀行振込**（1冊毎のご購入の場合、**¥5,980（送料込み）**をお振込み下さい。）
□ **単品：郵便代引き**（1冊購入の場合、お受取の際に局員へ**¥6,580**お支払い下さい。）
※送料＋代引き手数料＝¥780が単価に加算されます。

●発送は、**着金確認後に**普通郵便にて発送いたします。
お届けまでに2～4営業日程かかります。
●お振込み後の**キャンセルは出来ません**ので予めご了承下さい。

【お振込先】**みずほ銀行 池袋西口支店 当座 0106544 マスダユーエスリサーチジャパン（カ**
※振り込み手数料はお客様負担となります。
※振り込み控えを持って領収書に代えさせていただきます。
適格請求書が必要な場合は□にチェックをお願いします。 □ 必要

FAX送信先：03-3956-1313

マスダU.S.リサーチジャパン株式会社
info@chokugen.com

261102NN